

令和2年度 第3回アドバイザーボード議事要旨

1、出席者

(学識経験者)

氏名	所属・役職	出欠
赤澤 宏樹	兵庫県立大学 教授	○
天川 佳美	市民まちづくり支援ネットワーク	○
嘉名 光市	大阪市立大学大学院 教授	○
永田 宏和	KIITO 副センター長	リモート参加
福岡 孝則	東京農業大学 准教授	リモート参加

(地域団体)

福浪 秀光	三ノ宮南まちづくり協議会 総括総務委員	○
松岡 辰也	旧居留地連絡協議会 会長	○

※その他建設局・都市局・文化スポーツ局・建築住宅局の行政委員 8名
基本設計事業者 4名、にぎわい拠点施設運営事業者 5名

2、前回からの進捗状況、ならびに今回の議題の説明

1) 前回からの進捗状況

- ・令和元年12月の第2回の開催で委員より多くの意見をいただき、再整備基本設計（主な施設の整備の考え方）を作成した。
- ・令和2年4月に予定をしていた第3回アドバイザーボードを、新型コロナウイルスの影響で延期した。
- ・令和2年4月1日～4月30日に、市民の方の幅広い意見を反映させるため、再整備基本設計（主な施設の整備の考え方）について市民WEBアンケートを実施した。
- ・令和2年5月にWEB会議で意見交換会を行った。
- ・令和2年6月に市民アンケートの結果とアドバイザーボード委員の意見を反映し、東遊園地再整備基本設計（素案）を作成した。
- ・令和2年7月1日～7月31日に、東遊園地再整備基本設計（素案）についてパブリックコメントを実施し、12件（7通）の意見が提出された。

2) 今回の議題の趣旨

①これまでの意見と計画案への反映状況（資料2参照）

これまで委員からいただいた東遊園地の各ひろばの使い方や各施設への意見に対し、完成イメージ図や各ひろばの利用想定図等の資料を提示し説明した。

②市民WEBアンケートの結果報告（資料3-13頁参照）

市民WEBアンケートの結果について説明。

③パブリックコメント結果報告（資料1参照）

パブリックコメントの結果について説明。

④東遊園地基本設計（素案）（資料3参照）

東遊園地再整備基本設計（素案）について説明し、議論を行う。

3) 今後について

- ・東遊園地再整備アドバイザーボードは今回で終了とする。
- ・いただいた意見は神戸市で判断し、必要に応じて基本設計や実施設計で反映させる。
- ・今後、必要に応じて、アドバイザーボード委員に進捗を伝える場を設ける。
- ・管理運営については別途検討中であり、今後、にぎわい拠点施設の運営事業者とも調整しながら意見交換の場を設ける。

3、東遊園地再整備 第2回アドバイザーボードにおける意見要旨

■にぎわい拠点施設について

- ・建物と芝生ガーデンの距離を近づけるのであれば、いっそ園路をとるのはどうか。
- ・倉庫の位置について、にぎわい拠点施設の運営事業者が使うことが多いのであれば、拠点施設にできるだけ近いところに持つべく検討を続けること。

■計画案全体について

- ・現在の石張りの擁壁のデザインなども落ち着いて良いものだと思うので、継承すべきところは継承すべき。
- ・空間デザインについては、よくまとまってきている。
- ・舗装の表現、パースと平面図とで整合が十分ではないので仕上げを進める際には注意すること。実際の色調については、園内は明るい色調が良いように思うが、歩道の色調とのアンバランスさが出るのも良くないので、調整が必要。
- ・南北間道路については、少しずつでも構わないので、歩行者優先のしつらえに変えていくことを検討すること。
- ・芝生について、全体をフラットな盤にするだけでなく、緩い起伏があると人が集まりやすい。
- ・芝生ガーデンと芝生広場は、子供たちが裸足で走り回って行き来するような状態が望ましい。このため、芝生ガーデンと芝生ひろば間の園路の舗装についても、素材をしっかりと検討すること。
- ・芝生広場の使い方として、コンサート等が考えられるので、音の出し方についてもシミュレーションが必要である。
- ・公園への見通しが良くなることと、西側道路の交通量が増えることとのバランスについては、引き続き検討が必要。現在は交通量が多くないが、ここの状況が変わることを前提として交通安全対策を考える必要がある。
- ・北東側エントランスの地下道出入口については、公園の顔となるものをデザインするのが望ましい。また逆に、園内から市役所側を見たときに神戸の顔となるデザインも必要。
- ・北西側のクスノキは、信号待ちの日よけになるという効果もあるので、取り扱いは再考が必要。
- ・南北間道路には車両減速のためのハンプを検討すべき。
- ・北側園地の南端の横断歩道のラインから公園へとつながるような開口部、導入路について、もう少し検討が必要。

■夜間景観について

- 照明についてはLEDとして、時期や時間によって色や明るさを調整できると良い。

■花とみどりについて

- 花については、多年草など新しい手法を取り入れることを検討すること。
- レインガーデンについては、東遊園地前のみにあっても効果がない。神戸市全体で取り組むことができるよう、下水道部局との調整が必要。
- 南ブロックの入り口から歩道橋へと繋がる箇所について、高木のまともりは残してもよいが、1本だけのものは伐ってはどうか。

■休憩施設・その他の施設について

- 喫煙所については、今は公園の隅の方の目立たないところにあるが、その周りが変わるとよく目立つようになってしまう。
- ファニチャー類やデッキ等、木質系の材料が多く採用されるように見受けられるが、これらの質感、色調などを揃えていくよう考えること。また、固定式のファニチャーは初めにしっかりとデザインされるのだろうが、後から導入される可動式のものが安っぽくならないように留意すること。
- エレベーターの出入口の建築などについても、整ったデザインが導入されるようデザインコードの検討などを進めること。
- 今後、自転車以外に新しいモビリティが導入されていくことが考えられる。今は自転車置き場も計画されていないが、今後の予測も含めて検討を進めること。
- 旧居留地を自転車の放置禁止区域にしようという議論があり、どこかに駐輪場を確保する必要がある。

■南側エリアについて

- 南ブロックについては、歩道橋の日陰を上手に使って欲しい。また、公園と歩道の間だけではなく、南側の歩道と車道との境界部についても上手に使えるように検討すること。
- 南側エリアについて、ゆっくり静かに「本を読む」のか、アクティブに「遊ぶ」ことも視野に入れるのかが、まだ調整しきれていない。
- 遊具が欲しいというパブコメ意見があったが、みなとのもり公園では残土を積んだだけのところでよく遊んでいるので、南エリアにそれほどの遊具はなくても良いのでは。
- こどものための図書館は、安藤忠雄氏が「神戸の歴史を伝える場所」だと考えているのであれば、本を並べているだけの場所としてではなく、その考え方も活かしたものとして捉えることが大事。
- 騒音のことばかりではなく、「海を感じられること」を考慮して設計すること。
- 歩道橋入口部分のマウンドアップになっている部分について、周辺との調和や軸線の明確化などの視点から、デザインをしっかりと検討すること。

■運営に関わる事項について

- 三宮駅前の「えき～まち空間」から、再整備が進んで公共空間ばかりになってきている。使いこなすこと、育てていくこと、繋いでいくことへもっと意識を向けていくべき。
- 東遊園地の周辺は神戸にとっていちばん大切なエリアなので、様々にコラボレーションをしていく必要がある。

- 公園名のロゴ、愛称なども検討を進め、現地やホームページ等での情報発信に活用すること。
- 再整備が完了した後の、新しいモニュメントの受け入れルールの検討等も必要である。
- 運営の仕組みについて、本格的に運営の枠組みを考えていく時期にきている。
- 南側は、図書館と周りの園地を一体的に管理する方が良いのではないか。また公園全体の運営会議が必要。